

# 劇団「むさしの座」第44回公演

～ 演出家 桐原 博さん 追悼公演 ～

## アルジャーノンに花束を

原作：ダニエル・キイス  
脚本・演出：桐原 博 広石 一人

WRITTEN BY DANIEL KEYES



入場  
無料

2010年

11月13日(土) 14:00、19:00開演

14日(日) 14:00開演

武蔵村山市民会館小ホール

## あらすじ

知的障がいを持つチャーリーは、教師アリスの推薦で知能を高める脳外科手術の第一号被験者に選ばれる。すでに動物実験では鼠のアルジャーノンが手術に成功していた。手術の後、みるみるチャーリーの知能は高まり、やがて担当医のニーマー教授を追い抜き、彼のプライドを傷つける。そして友だちと信じていたパン屋の仕事仲間も次第にチャーリーを恐れ離れてゆく。さらに、両親に捨てられた過去、アリスへの強い恋慕がチャーリーを苦しめ、やがて自身に施された手術の恐ろしい真実を知る……。

### キャスト

チャーリー…………丸田 大介   マット……………森 喜行  
ストラウス博士……見延 武子   ローズ……………穴戸 延子  
ニーマー教授………米野 太一   アルコ……………大橋なおみ  
アリス……………乙幡 麻紀  
バート……………酒井 浩伸  
ギャビー……………湯澤 敏子  
フラン……………澤野 和子  
ジュデイ……………石井こずえ

### スタッフ

脚本・演出……………桐原 博  
脚本・演出・音響…広石 一人  
舞台監督・照明……内野 辰美  
照明……………酒井 保  
衣装……………梶 文子  
大道具……………武藤 恭章  
ビデオ……………加藤 光  
制作……………広石 康子

### 桐原 博さんについて

初めて桐原さんが「むさしの座」の演出を担当したのは、1980年「夕鶴」(木下順次作)公演。故・広石幸弘座長が、主役の与ひょう役を演じるにあたり、「三多摩演劇を見る会」で知り合った、桐原さんに演出を依頼したのがきっかけ。それ以来、およそ20年間20公演の演出を手がけ、彼の舞台装置、照明プランは、まるで絵画を描くような美しさで、多くの「むさしの座」ファンを魅了した。

「立川真夏の夜の演劇祭」(1993年)では、「猿の手」(W・W・ジェイコブズ作)で最優秀賞を受賞、演出家としての才能を如何なく発揮した。桐原さんに演劇の楽しさを教えてもらったアマチュア俳優は数知れず、おだやかで辛抱強い演出は、稽古場をいつも、家族と過ごしているような雰囲気包みこんだ。

演出家としても活躍する一方、グラフィック・デザイン、挿絵・

カット展を積極的に開催、美術家、デザイナーとしても高い評価を得た。

2009年、長い充電期間を終え、桐原さんが長年にわたり構想をあたためていた「アルジャーノンに花束を」(ダニエル・キイス作)公演に向けて、満を持しての稽古を開始。「単なるあらすじ紹介の芝居にしたくない」と、出来る限り原作に忠実に、本を深く深く掘り下げる、丁寧な読み合わせ稽古を仕切る桐原さんは、長いプランをまったく感じさせないどころか、病魔と闘いながらも、新作への情熱に燃えていた。

稽古半ばでの、桐原さんの早すぎる逝去後一年が経った今、皆で力を合わせて、芝居とアートを愛し続けた桐原さんの穏やかな笑顔を偲びながら、「アルジャーノンに花束を」に挑みます。

## 入場無料

開場は開演の30分前です。お早めに席にお着きください。

主催：武蔵村山市市民文化協会 後援：武蔵村山市教育委員会

劇団「むさしの座」公式WEBサイト

<http://reset.noor.jp/za/>

### 楽しくお芝居をしませんか？

劇団「むさしの座」は、いろいろな職業の人や学生達のアマチュア劇団です。

会費は月に1000円という条件だけで、どなたでも大歓迎！

お問い合わせは [resetresetreset@hotmail.com](mailto:resetresetreset@hotmail.com) (矢野) まで

